

イラン攻撃中止!



国連憲章・国際法を無視した攻撃

アメリカ・トランプ政権とイスラエルは2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始しました。これは今年1月のベネズエラ侵攻と同じく国連憲章と国際法を無視した無法な先制攻撃であり、絶対に許されません。この攻撃により、イラン南部ナミブの小学校では100人以上の子どもたちが犠牲になったとも報じられています。

どんな理由でも無法な武力攻撃はゆるされません

アメリカ側はこれはイランの核開発の問題や、政権の人権侵害を理由に、イラン政権による脅威を排除するための攻撃だと正当化していますが、どんな理由があっても国際法や国連憲章に反する武力攻撃は許されるものではありません。



日本共産党はこの暴挙に抗議するとともに対話による解決を求めます。日本政府もアメリカ政府に対し、いまますぐイランへの攻撃を中止するように強く求めるべきです。

「戦争ストップ」の声をあげましょう

トランプ大統領に対して、アメリカの市民も抗議の声を上げています。首都ワシントンでは28日、市民がデモ行進と抗議行動を行い「アメリカは今すぐイランから手を引け」「帝国主義者の戦争を終わらせなければならぬ」「際限のない戦争にこれ以上金を使うな」などと訴えています。トランプ政権の無法な他国への干渉に対してアメリカ国民の中からも批判が沸きだし、自国の問題に集中するよう求める声が出ています。



市民の声で戦争を止める世界中の動きに連帯し、日本からも戦争反対の大きな声を上げていきましょう。

「イラン攻撃を糾弾し、即時中止を求める」声明



しんぶん赤旗
申し込み

